

今月の新着本

底なし淵	村田 久	日本会議の研究	菅野 完
失踪者	下村 敦史	京の縁結び縁見屋の娘	三好 昌子
諦めない女	桂 望実	奪還の日 刑事の挑戦・一之瀬拓真	東野 圭吾

児童書・絵本

ななちゃんのおかたづけ	津金 愛子	つばめこうくう	もとやすけいじ
-------------	-------	---------	---------

今月のおすすめの本

罪の声 塩田 武士	これは、自分の声だ。 京都でテーラーを営む曾根俊也は、ある日父の遺品の中からカセットテープと黒皮のノートを見つける。ノートには英文に混じって製菓メーカーの「ギンガ」と「萬堂」の文字。テープを再生すると、自分の幼いころの声が聞こえてくる。それは、31年前に発生して未解決のままの「ギン萬事件」で恐喝に使われた録音テープの音声とまったく同じものだった…。 2017 本屋大賞ノミネート
いっさいはん minchi	実は子ども向け絵本として購入したのですが、そうではありませんでした。でも読むと「あるあるすぎてニヤニヤしちゃう！」です。 「1歳半ぐらいの子どもの行動」が絵本になり、描けている光景は「まさに今日見た」「ものすごくわかる」「かわいいしなつかしい」「この頃が一番おもしろかった」「いま思うといとおしすぎる」等、子育てはたいへんだけど楽しいと思わせてくれる大人のための絵本です。
死んでいない者 滝口 悠生	生の断片が重なり合って 永遠の時間が立ち上がる奇跡の一夜。 秋のある日、大往生を遂げた男の通夜に親類たちが集まった。 子ども、孫、ひ孫たち30人あまり。 一人ひとりが死に思いをはせ、互いを思い、家族の記憶が広がっていく。 第154回芥川賞受賞 読みやすく意外と面白かった。

〈利用できる日時〉 月・水・木・土・日曜日 午前9時～午後9時

〈利用できない日時〉 火・金曜日の休館日 年末年始（12月29日～1月3日）

〈交通〉 相模鉄道 三ツ境駅より徒歩20分

* 駐車場がありませんので、徒歩か自転車でお越しください。

* 東野中学校東門（老人ホーム東野園側）よりお入りください。